

2018年7月第2週のトピックス

原発関連で気になった記事・出来事から、2人の方の発言を紹介したい。

◆「避難続けたい人が続けられる施策をお願いしたい」

森松明希子（東日本大震災避難者の会 Thanks&Dream 代表）さんの言葉から

今年の3月に、スイス・ジュネーブの第37回国連人権理事会でスピーチをした森松明希子さんが、7月11日、参議院東日本大震災復興特別委員会で参考人として発言した(資料②)。その一週間前の7月4日には、国会議員・外務省役人も出席しての勉強会が開催されており、外務省からは国連の「国内避難民に関する指導原則」を翻訳し周知させることになったとの報告がなされている(資料①)。

同勉強会にも出席していた森松さんの発言の一部が、以下のものである。

「この7年間、ずっと人権侵害の状況が続いている。避難民が日本全国ばらばらに散らばっており、とくに避難指示区域外の避難者の実情が把握できておらず、そのため効果的な支援ができていない。国際的な原則が守られておらず、差別もおきている。また、帰還する人への支援が厚く、帰還しない人への支援が打ち切られている。**避難続けたい人が続けられる施策をお願いしたい**」

資料①：グリーンピース・ジャパンからの報告（7月13日）

7月4日開催の衆議院議員会館での勉強会「第37/38回国連人権理事会に福島原発事故被災者が参加～国連国内避難民に関する指導原則を政策に生かす～」

www.greenpeace.org/japan/ja/news/blog/staff/blog/61723/

資料②：星の対話プロジェクト（災害避難民の人権ネットワーク）から（7月15日）

参議院東日本大震災復興特別委員会（7月11日） 森松参考人の陳述書き起こし

<http://starsdialog.blog.jp/archives/76861805.html>

◆「原発が安いと勘違いするのは、このような『バックエンド』（後処理）の費用が隠されており、当該費用を誰が負担するのかが不明であるため」

大島堅一（龍谷大学教授）さんの言葉から

上記のものは、韓国・ソウルで開かれたエネルギー転換フォーラム主催のセミナーに招請され訪韓した龍谷大学・大島堅一教授に、ハンギョレ新聞の記者がインタビューした記事から拾った言葉である。大島教授は、記事の中で、次のようにも話している。

「福島事故は、全世界に原発事故の破壊力を知らしめただけでなく、『実際原発コスト』が私たちが知っていたものとは全く異なるという教訓も教えてくれた」と。そして、「最近新たに集計された福島事故処理費用は、**・・合わせて23兆5千億円に達する**」とも、

語っている。

資料③：ハンギョレ新聞 [インタビュー] 「事故・廃炉後の費用負担を明らかにすれば原発は安いと勘違いしない」 (7月12日配信)

<http://japan.hani.co.kr/arti/economy/31088.html>

(文責 片山純子) 2018年7月15日作成